

## 文化・芸術

### 〈名画の扉〉

大川美術館企画展  
「松本竣介《街》と昭和モダン展」から

この展覧会の最後と表現に取り組んだ画家なる第5章では、大川たちです。美術館のコレクション 彼らは、戦前の「昭和モダン」のなかで前衛2〜48年の没後の「昭和モダン」のなかで前衛「昭和モダン」の展開として、戦後の抽象表現の「フォルメル」などの抽象表現主義の影響を受けた。展示した作品の代にそれぞれ独自の抽象絵画を描くようになった。1950年、松本竣介の生涯の友人であった難波田 象絵画を描くようになった。今紹介する作品は、文学的な資質を持つ、斎藤義重、瑛九、オノサト・トシノブは、つた難波田の透明感のある詩情をたよわせ創作活動を始め、戦後た成熟期の秀作です。

(田中)

### 「コバルトブルーの歌」

1991年、水彩、和紙  
71.5cm×157.0cm  
大川美術館蔵



難波田龍起 (1905〜97年)